

万世橋停車場に関する二つの仕様書の差異について About a Difference of Two Specifications for Manseibashi Station

久保田 稔男¹

KUBOTA Toshio¹

¹国立科学博物館 工修

¹National Science Museum, M. Eng

万世橋停車場、仕様書、国立科学博物館、交通博物館、比較

Manseibashi Station, Specification, National Science Museum, Transportation Museum, Comparison

はじめに

1912年(明治45)に建設された万世橋停車場本屋については、工事にあたって作成されたと思われる仕様書が2種確認されている。一つは国立科学博物館が保管する『市街線高架鉄道萬世橋停車場本屋新築工事示方書』¹⁾(以下傍点筆者。科博本あるいは㊦と記す)であり、もう一つは交通博物館で2006年に公開された『市街線高架鉄道萬世橋停車場本屋建築工事示方書』^{注1)}(交博本あるいは㊧と記す)である。㊦は青焼きによる複写物であり、元原稿は楷書で墨書したと思われる。㊧は謄写版による印刷物であり、㊦に比べると文字はだいぶ乱れている。両者はほぼ同一の情報を記した資料であるとみなせるが、㊦が旧字を多用しているのに対し、㊧は略字が用いられている。㊦がやや漢文調で助詞や送り仮名が省略されていることに対して、㊧ではそれらが適宜補われている。など、記述内容の全編にわたり微妙な差異が見受けられる。

建築分野では、明治以降新たな施工技術が欧米から導入されるが、工事について共通の仕様書が作成されるのは1923年(大正12)のことである²⁾。万世橋停車場に関する二つの仕様書は、建築の標準仕様書が成立するまでの過渡的段階を知る上で、示唆に富む資料であり、建築施工分野における技術革新の経緯を解明するための手がかりを与えるものと考えられる。本稿では、両資料の記述内容を比較することで、両資料の関係を明らかにすることを試みる。

全体構成の比較

仕様書は全14章で構成されているが、「4章 煉瓦工事」の条文が一部入れ替わり、㊦4章3条(以下、4・3と略記)⇔㊧4・5、㊦4・4⇔㊧4・3、㊦4・5⇔㊧4・4となっている。

また「6章 木工事」では、㊦は章題の下に小項目を立てているのに対して、㊧では一部の条文で項目を

立てずに、条文内に項目名を記述している(表1)。

表1 「第6章 木工事」の項目立て

科博本	交博本
■木製間仕切 第1条	第1条 木製間仕切
■小屋及屋根 第2~13条	第2条 小屋及屋根 第3~13条
■出入口 第16~21条	第16条 出入口 第17~21条
■腰羽目及巾木 第23~26条	第23条 腰羽目及巾木 第24~26条

記述情報の加筆部と欠落部について

両者を比べると、一方だけに記されている情報があることがわかる(表2)。特に㊦の6・9, 15, 29の各加筆は、元となる資料に対する印象を記したコメントと読み取れる。さらに、13・5に見えるように、㊦には肉筆で修正が施されており、㊧はその修正を反映して原稿を作っている。このことから㊦は㊧よりもオリジナルに近い資料であるといえる。

一方、6・17~20、7・1に見えるように、「㊦」等の記号を一括して省略した記述は、単純な書き間違いではなく何かの意図に従ったものと考えられる。このことから㊦は単純に㊧を手本にして作成されたものではないことが推測される。

用語の違いについて

両資料を比較すると、例えば㊦「L形鋼鉄」⇔㊧「アングル」(8・13)、㊦「継手」⇔㊧「ジョイント」(8・15)、㊦「L鉄」⇔㊧「アングル」(8・16, 17)など、書き間違いや省略とは思えない用語の違いを見ることができる。書き間違いや省略とは思えない差異は各条文の書きぶりなどにも多々見いだせ、こ

表2 片方の資料のみに記載された情報 (傍線部)

	科博本	交博本
6	… <u>楣窓臺胴差等ノ仕</u>	… <u>楣窓台及胴差ハ</u>
・	<u>口ヲ造り建込ミ筋違</u>	
1	<u>杉挽立材切込ミ楣窓</u>	杉挽立材
	<u>臺及胴差ハ杉挽立材</u>	
	両端柄付ケ柱ニ指合	両端柄付ケ柱ニ差シ
	セ込栓…	合セ込栓…
6	…棟及軒先飾化粧棟	…棟及軒先飾化粧棟
・	瓦棒両側蛇腹等ハ杉	瓦棒両側蛇腹等ハ杉
9	挽立材ニテ銅板張	挽立材ニテ銅板張
		<u>(三木と白倉がやっ</u>
	繰形下地ヲ	<u>て来た) 繰形下地ヲ</u>
	拵へ取付ケ内部額縁	拵へ取付ケ内部額縁
	<u>天井廻リ縁杉挽立材</u>	
	<u>削リ立テ隅留ニ打廻</u>	
	<u>シ天井野縁松二寸角</u>	松二寸角
	圖面ノ通配置シ打付	圖面通り配置シ打付
	ケ…	ケ…
6	貳階床大引及根太掛	貳階床大引及根太掛
・	<u>ニ挽立材「コンクリ</u>	<u>ニ挽立材「コンク</u>
15	<u>ート」上端ニ馴染能</u>	<u>リート」上端ニ馴染</u>
	ク	能ク (<u>何ンダカ変ナ</u>
	置渡シ…	<u>言葉ダネ) 置渡シ…</u>
	(=は[木へんに屠])	(=は[木へんに屠])
6	<u>㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼</u>	
・	<u>㊽㊾㊿㊰㊱㊲等ノ楣</u>	楣
17	口鉄梁周囲ハ…	口鉄梁周囲等ハ…
6	<u>㊳㊴㊵㊶㊷等ノ迫持</u>	迫持
18	口楣形飾ハ…	口楣形飾ハ…
6	<u>㊸㊹㊺楣口及…</u>	楣口及…
19		
6	<u>㊻㊼㊽㊾㊿㊰㊱</u>	迫
20	口沓摺ハ…	持口沓摺ハ…
6	…入子面同材繰形面	…入子面同材繰形
・	取り隅留メニ打廻シ	面取り
23	<u>腰長押同材繰形面取</u>	
	<u>リ継手目違入レ…</u>	継手目違入レ…
6	… <u>鍔梁ノ包ミ</u>	… <u>鍔梁ノ包ミ (変ナ</u>
29	下地ハ…	<u>丁義ダネ) 下地ハ…</u>
7	…各出入口ハ階下両	…各出入口ハ階下両
・	妻面㊶㊷㊸出入口、	妻面 出入口、
1	婦人待合室㊹全便所	婦人待合室 全便所
	入口及階上㊺三連窓	入口及階上 三連窓

		中央ノ分ハ…	中央ノ部ハ…			
10	科博本	品名	下塗	斑直	中塗	上塗
2		灰	蛸灰 四斗 石灰 六斗	二斗 四斗	四斗 三斗	八斗 二斗
	交博本	品名	下塗	斑直	中塗	上塗
		灰	蛸灰 四斗 石灰 六斗	二斗 四斗		
13	・5	… <u>便所ハ總体内地産</u>	…便所ハ總体			
		「 <u>アスファルト</u> 」ヲ以	アスハルトヲ以			
		テ…	テ…			
		(<u>二重取消線は肉筆に</u>				
		よる書き込み)				

のことからも㊶は単純に㊶を手本にして作成されたものではないことをうかがわせる。

まとめ

以上のことから、万世橋停車場に関する二つの仕様書の関係をまとめると、オリジナルの仕様書に対して科博本はより近い関係の、いわば「子」にあたる複写であるのに対して、交博本は「孫」もしくはそれ以降の位置づけにある存在であるといえる。ただし、交博本は科博本を直接の手本として作成されたものではなく、科博本の情報を受け継ぎつつ、別に作成された仕様書を手本として印刷された資料であるといえることができる。

参考文献

- 1) 拙稿, 「資料『市街線高架鉄道萬世橋停車場本屋新築工事示方書』の概要について」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2, 2006年, pp.413~414
- 2) 日本建築学会編『近代日本建築学発達史(復刻版)』文生書院, 2001年, p.476

注

- 1) 以下、本資料の閲覧にあたっては、小野田滋・鉄道総合技術研究所主査、ならびに交通博物館のご好意による。